

# 保存修復学 I

責任者名：宮崎 真至

学期：前期

対象学年：3年

授業形式等：講義

## ◆担当教員

宮崎 真至(歯科保存学 I 教授)

黒川 弘康(歯科保存学 I 准教授)

高見澤 俊樹(歯科保存学 I 准教授)

石井 亮(歯科保存学 I 助教)

柴崎 翔(歯科保存学 I 助教)

## ◆一般目標 (GIO)

歯科医療に必要な保存修復領域の知識を身につけるために、歯に生じる硬組織疾患の概要を理解し、疾患の治療の進め方の基本を知る。

## ◆到達目標 (SBO s)

- ① 歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症, 咬耗, 摩耗等), 歯の変色, 象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。
- ② 齲蝕およびその他の歯の硬組織疾患 (tooth wear, 生活歯の変色, 象牙質知覚過敏症を含む) の症状, 検査法, 診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。
- ③ Minimal Intervention <MI>に基づく歯科治療の意義, 臨床的対応を説明できる。
- ④ 修復材料とその取扱い, 修復法の適応を説明できる。
- ⑤ 修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
- ⑥ 窩洞形成の意義と方法を説明できる。

## ◆評価方法

平常試験 (50%) および定期試験 (50%) で評価する。

平常試験について

- ① 平常試験は 7 月 24 日 (月) の 2 時限目 (10:00~10:50) で実施する。
- ② A 班 (学年番号が奇数のグループ) は第 1 実習室 A (本館 4 階) で, B 班 (学年番号が偶数のグループ) は第 1 実習室 B (本館 4 階) で, それぞれ平常試験を受験する。
- ③ 平常試験の出題は講義内容の全範囲とする。
- ④ 平常試験については解説 (フィードバック) を行う。

定期試験について

- ① 定期試験の出題は講義内容の全範囲とする。

## ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
宮崎 真至	水曜日 17:00~18:00 歯科保存学第 I 講座教授室	miyazaki.masashi@nihon-u.ac.jp	
黒川 弘康	水曜日 17:00~18:00 歯科保存学第 I 講座医局	kurokawa.hiroyasu@nihon-u.ac.jp	
高見澤 俊樹	水曜日 17:00~18:00 歯科保存学第 I 講座医局	takamizawa.toshiki@nihon-u.ac.jp	
石井 亮	水曜日 17:00~18:00 歯科保存学第 I 講座医局	ishii.ryou@nihon-u.ac.jp	
柴崎 翔	水曜日 17:00~18:00 歯科保存学第 I 講座医局	shibazaki.shou@nihon-u.ac.jp	

## ◆授業の方法

対面で行う。必要に応じて Google カレンダーに講義資料を添付する。

【実務経験】宮崎真至：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院保存修復科での診療経験および歯科保存学第 I 講座の教授として研究等で得られた最新の知見を踏まえながら、歯科医療に必要な保存修復領域の基本的知識を修得する場を提供したいと考えている。

【実務経験】黒川弘康，高見澤俊樹，石井 亮，柴崎 翔：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院保存修復科での診療経験を踏まえながら、CBT や歯科医師国家試験への対応も含めて、歯科医療に必要な保存修復領域の基本的知識を修得する場を提供したいと考えている。

## ◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	保存修復学（第 7 版）	千田 彰，宮崎真至，林美加子，向井義晴，斎藤隆史	医歯薬出版	2019
参考図書	保存修復学 21（第 6 版）	田上順次，奈良陽一郎，山本一世，斉藤隆史	永末書店	2022
参考図書	保存修復学実習概要 2023	日本大学歯学部保存学教室修復学講座編	新燈印刷	2023
PDF 資料等配付				

## ◆DP・CP

コンピテンス4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンシー：4-5, 4-6, 4-10

対応するディプロマ・ポリシー：DP4

コンピテンス5：医療の実践

コンピテンシー：5-1, 5-2, 5-3, 5-4, 5-5, 5-6

対応するディプロマ・ポリシー：DP5

## ◆準備学習(予習・復習)

予習について

該当する教科書の範囲に目を通すことで、学習項目の概要を把握しておくこと。

Google カレンダーに講義資料が添付されている場合、事前にダウンロードし目を通すこと。

復習について

教科書を用いて講義ノートおよび講義資料の不足部分を補完すること。

必要に応じてオンデマンドでビデオ講義を視聴すること。

質問について

授業内容に関する質問のみメールで受け付けるが、オフィスアワーも有効活用すること。

## ◆準備学習時間

各回の学習項目に沿って予習と復習を行えるよう、講義1コマに対して2コマ程度の時間を確保すること。

## ◆全学年を通しての関連教科

保存修復学Ⅱ（3年前期）

保存修復学実習Ⅰ（3年前期）

保存修復学実習Ⅱ（3年後期）

歯科理工学Ⅱ（3年前期）

歯科理工学実習Ⅱ（3年前期）

ベーシックカリオロジー（3年前期）

クリニカルカリオロジー（3年後期）

## ◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.10	3	1. 保存修復学とは 1)概念と目的 2)修復方法の概要 3)Minimal Intervention <MI>に基づく歯科治療	・保存修復学の概念と修復方法の概要を説明できる。 ・MIに基づく歯科治療の意義を説明できる。	宮崎 真至	E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療

				とは (教) pp.1-2, pp.2-5, p.68			
2		4.17	3	2. 歯の硬組織疾患 1)硬組織疾患の種類 2)齲蝕の病因と病態 3)非齲蝕性硬組織疾患の病因と病態 (教) pp.14-17, pp.22-27, pp.28-37	・歯の硬組織疾患の種類を説明できる。 ・齲蝕の病因と病態を説明できる。 ・齲蝕の分類と表記を説明できる。 ・非齲蝕性硬組織疾患の病因と病態を説明できる。	宮崎 真至	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因
3		4.24	3	3. 歯の硬組織疾患の処置：硬組織の切削と窩洞 1)硬組織の切削に用いる器具 2)窩洞の概念 3)窩洞の分類，構成，各部分の名称 4)窩洞に具備すべき条件 (教) pp.98-110, pp.110-122	・硬組織の切削に用いる器具の種類と特徴を説明できる。 ・窩洞の概念を説明できる。 ・窩洞の分類，構成，各部分の名称を説明できる。 ・窩洞に具備すべき条件を説明できる。	石井 亮	D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
4		5.1	3	3. 硬組織疾患の処置：光重合型コンポジットレジン修復 1)修復の特徴 2)適応症 3)種類 4)組成 5)硬化機序 (教) pp.147-154	・修復の特徴，適応症を説明できる。 ・コンポジットレジンの種類，組成，硬化機序を説明できる。	宮崎 真至	D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
5		5.8	3	3. 硬組織疾患の	・光重合型コンポジットレジンの歯	宮崎 真至	D-2 歯科材料

				処置：光重合型コンポジットレジン修復 6) 歯質との接着機序 (教) pp.141-145	質への接着機序を説明できる。		の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
6		5.15	3	3. 硬組織疾患の処置：光重合型コンポジットレジン修復 7) 修復材料との接着機序 (教) pp.141-145	・光重合型コンポジットレジンの歯質以外の被着対象への接着機序を説明できる。	宮崎 真至	D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
7		5.22	3	3. 硬組織疾患の処置：光重合型コンポジットレジン修復 8) 臨床的特徴 (教) pp.154-158	・重合収縮など、臨床的特徴を説明できる。	黒川 弘康	D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
8		5.29	3	3. 硬組織疾患の処置：光重合型コンポジットレジン修復 9) 齶蝕の臨床所見 10) 齶蝕の検査法	・齶蝕の臨床所見を説明できる。 ・齶蝕の検査法を説明できる。	黒川 弘康	D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 D-2 歯科材料

				(教) pp.71-79, pp.56-64			の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
9		6.5	3	3. 硬組織疾患の処置：光重合型コンポジットレジン修復 11)修復の手順 (教) pp.129-138, pp.160-170, pp.71-79, pp.98-110, pp.110-122	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修復の一般的手順を，前準備処置を含めて説明できる。</li> <li>・感染歯質の除去法について，使用する切削器具を含めて説明できる。</li> <li>・間接修復との窩洞形態の違いを説明できる。</li> </ul>	黒川 弘康	D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
10		6.12	3	3. 硬組織疾患の処置：光重合型コンポジットレジン修復 11)修復の手順 (教) pp.129-138, pp.159-170, pp.141-145	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修復の一般的手順を，前準備処置を含めて説明できる。</li> <li>・修復に必要な歯面処理を説明できる。</li> <li>・照射器など修復に使用する周辺器械・器材について説明できる。</li> </ul>	黒川 弘康	D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因

							E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
11		6.19	3	<p>3. 硬組織疾患の処置：光重合型コンポジットレジン修復</p> <p>12)修復の実際 (教) pp.65-70, pp.71-84, pp.241-245</p>	<p>・修復の実際について、症例を通して説明できる。</p>	黒川 弘康	<p>D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途</p> <p>D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法</p> <p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p>
12		6.26	3	<p>3. 硬組織疾患の処置：グラスアイオノマーセメント修復</p> <p>1)修復の特徴</p> <p>2)適応症</p> <p>3)種類</p> <p>4)組成</p> <p>5)硬化機序</p> <p>6)理工学的性質</p> <p>7)窩洞の特徴</p> <p>8)修復の手順</p> <p>9)修復の実際 (教) pp.170-177</p>	<p>・修復の特徴、適応症を説明できる。</p> <p>・グラスアイオノマーセメントの種類、組成、硬化機序、理工学的性質を説明できる。</p> <p>・修復窩洞の特徴を説明できる。</p> <p>・修復の一般的手順を、前準備処置を含めて説明できる。</p> <p>・修復の実際について、症例を通して説明できる。</p>	高見澤 俊樹	<p>D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途</p> <p>D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法</p> <p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p>
13		7.3	3	<p>3. 硬組織疾患の処置：歯の漂白</p>	<p>・変色の原因を説明できる。</p> <p>・漂白の特徴、適応症を説明でき</p>	高見澤 俊樹	D-1 歯科医療機器(歯科材

				<p>1)変色歯とは 2)漂白の特徴 3)適応症 4)種類 5)漂白のメカニズム 6)漂白の手順 7)漂白の実際 (教) pp.85-90</p>	<p>る。 ・漂白の種類, メカニズムを説明できる。 ・漂白の一般の手順を説明できる。 ・漂白の実際について, 症例を通して説明できる。</p>		<p>料・器械・器具)の特性と用途 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p>
14		7.10	3	<p>3. 硬組織疾患の処置：象牙質知覚過敏の処置 1)原因と特徴 2)処置の実際 (教) pp.84-85</p>	<p>・象牙質知覚過敏の原因と特徴を説明できる。 ・象牙質知覚過敏の処置方針を説明できる。</p>	柴崎 翔	<p>D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p>
		7.24	2	<p>平常試験 * 2時限目</p>	<p>・第1～14回の講義に関する試験を行う。 ・A班は第1実習室Aで, B班は第1実習室Bで行う。</p>	黒川 弘康	<p>D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操</p>



							<p>作方法</p> <p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p>
15		7.24	3	平常試験の解説	<p>・第1～14回の講義に関する試験を受け、その解説（フィードバック）を聞くことで、理解不足であった内容を自覚し、該当する講義の内容を振り返る。</p>	黒川 弘康	<p>D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途</p> <p>D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法</p> <p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p>

